

部が直接統括する分科会の設置について

分科会名： ゲノムコホート研究体制検討分科会

1	担当部及び関係委員会名	第二部
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	我が国ではこれまでもいくつかのコホート研究が行われてきたが、それらはすでに疾患をもつ人のゲノム配列を調べて原因遺伝子を同定しようとするような、いわゆる後ろ向きのものであった。ゲノム情報が比較的容易に得られるようになった今日、複雑な環境要因およびゲノムと人間の健康の相関について正確な情報を得るための、健常人を対象とした長期・大規模な前向きコホート研究を行うことが可能となり、国策としてその推進の必要性もこれまでになく高まっている。平成22年7月策定の新成長戦略ライフ・イノベーションの重点方策には「ゲノムコホート研究と医療情報の統合による予防法の開発」が含まれ、ゲノムコホート研究で得られる疫学情報と電子化された医療情報の統合により、治癒困難な疾患に関する原因因子の解明を目指すことが謳われた。これを受けて23年9月には科学技術戦略推進費によるパイロットプロジェクトが開始された。また、東日本大震災に伴う被災地域住民の健康を守るという立場からも大規模ゲノムコホート研究が計画されている。しかしながら、情報解析分野の人材不足を始め、ゲノムコホート研究を進める上での課題が山積している。このような我が国の現状を鑑みるに、国としてどのような態勢でコホート研究を進めるべきか、多量のゲノムデータの解析技術をどう発展させるか等を学術会議で集中的に検討し、適切な提言を政府、社会に行うことは喫緊の課題である。
4	審議事項	我が国が推進すべきゲノムコホート研究について規模ならびに研究実施体制について多面的に検討し、合理的なあるべき姿に係る審議に関すること
5	設置期間	時限設置 平成24年1月27日～平成26年9月30日
6	備考	※新規設置